

PHOTO © KEIYA IZUMI / G&P/PIRE DIAMON'S SHINJI SAKAMOTO

宮本益光 バリトンリサイタル

— 碧のイタリア歌曲II —

MASUMITSU
MIYAMOTO
BARITONE RECITAL
MUSICA ITALIANA AZZURRA II

2013.7/19^金 銀座 王子ホール 開場18:30 開演19:00

出演 宮本益光 (バリトン) / ロマーノ・プッチ (フルート) / ファビオ・スプルッツォラ (ギター)
イヴァーノ・ブランビッラ (クラリネット・マンドリン)

チケット発売: 4月19日

全席
自由 5,000yen

チケット販売

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード196-936) / 王子ホールチケットセンター 03-3567-9990 / 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

チケット販売・お問合せ

二期会チケットセンター 03-3796-1831

主催 mas-mits club

Andante (株)アンダンテプロジェクト

協賛 Alitalia

アリタリアーイタリア航空

後援



イタリア文化会館

後援・マネジメント

公益財団法人東京二期会



宮本益光 / バリトン
Masumitsu Miyamoto / Baritone

愛媛県出身。東京藝術大学卒。同大学大学院修士課程修了。同大学院博士後期課程修了。論文「オペラの日本語訳詞、その方法論」、学位(音楽)博士号を取得。日本声楽アカデミー会員。二期会会員。

友愛ドイツ歌曲コンクール学生部第一位。奏楽堂日本歌曲コンクール奨励賞受賞。第69回日本音楽コンクール入選。国際モーツァルトコンクール派遣者選考会にて優秀賞受賞。芸大在学中に「よんでん文化振興財団奨学生」に選ばれる。テレビ愛媛賞25、よんでん文化奨励賞を受賞。

1996年に「ドン・ジョヴァンニ」でオペラデビュー。2003年、A.プレヴィン「欲望という名の電車」スタンリー役(日本初演)の好演で一躍脚光を浴び、2004年二期会オペラデビューとなった宮本聖門演出「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロールでは、新時代のドン・ジョヴァンニ像を演じ各方面より絶賛された。

2007年には日生劇場音楽ドラマ「チャイコフスキー」にタイトル・ロールとして出演して舞台をリード。歌唱だけでなくとどまらず、淡路恵

子や長谷川初範といったベテラン俳優と互角に肩をならべる中で極めて完成度の高い演技を披露し、表現者としての一層の幅と深みを加えた。また2008年にはミュージカル「アブロース」に前田美波里の恋人役で出演し注目を集めた。

びわ湖ホール・神奈川県民ホール「ラ・ボエーム」(A.ホモキ演出)、新国立劇場「鹿鳴館」(三島由紀夫原作 池辺晋一郎作曲 世界初演)、日生劇場「オルフェオとエウリディーチェ」、東京二期会「ドン・ジョヴァンニ」(K.グルーバー演出)、日生劇場「メデア」(日本初演)、東京二期会「こうもり」(白井見演出)と、注目の舞台での主演が続いている。コンサートでも「第九」をはじめソリストとして活躍。都内主要オーケストラとの共演も数多い。2004年読売日響「カルミナ・ブラーナ」での躍動感溢れる演奏が好評を博し、その模様は日本テレビでも放映された。「日本フィル夏休みコンサート2010」ではオペラ「魔笛」をモチーフにした独自のアイディアによるステージを親子向けに披露し、全16回公演を成功へ導く原動力となった。2012年読売日響とのHK.グルーバー「フランケンシュタイン!!」も大きな話題を呼んだ。

ユニバーサルミュージックよりデビューCD「おやすみ」、07年3月、ナミレコードより、自らが作詞した「あしたのうた」を含む新たなCD(加藤昌則作曲)、「宮本益光バリトン・リサイタル(日本の歌〜ここからここへ)」も好評。DVD「宮本益光リサイタル〜日本語訳詞で聴くオペラ名場面集」、著書に「宮本益光とオペラに行こう」(旬報社)詩集「もしも歌がなかったら」(セーラー出版)等がある。2012年オクタヴィアレコードより「碧のイタリア歌曲」をリリース。作詞家としての活動も徐々に広がりを見せ、自作詩「あしたのうた」「歌いたがりの歌の歌」(作曲・加藤昌則)、「うたうたう」(作曲・信長貴富)が出版されている。2012年には会津白虎隊をテーマとしたオペラ「白虎」の台本も手がけた。音楽雑誌への寄稿、新聞紙上での書評など文筆活動もこなす多才ぶりを発揮。著書に「宮本益光とオペラへ行こう」、「もしも歌がなかったら」がある。

OFFICIAL "http://www.mas-mits.com/"

MASUMITSU MIYAMOTO

BARITONE RECITAL MUSICA ITALIANA AZZURRA II

宮本益光 バリトンリサイタル ―― 碧のイタリア歌曲



アンサンブル・クラシカ
Ensemble Classica

イタリア、ミラノスカラ座管弦楽団の元トップ・フルーティストであるロマーノ・プッチ氏により結成されたクラシックの室内合奏団で、中心メンバーは彼のほかファビオ・スブルツォラ(ギター)、イヴァーノ・ブランビッラ(マンドリン及びクラリネット)の計3人。

ロマーノ・プッチ / フルート
Romano Pucci / Flute

マエストロ/シルヴィオ・クリレチに師事。ローマの公立サンタチェチリア音楽院卒業。1980年、イタリア国営放送ラジオスイスの国際オーケストラコンクールに優勝し、最も優雅で洗練されたフルート奏者として内外に認められた。「魔法のフルーティスト」として有名である。30年以上に渡り「ミラノスカラ座フィルハーモニー管弦楽

団」のメンバーとして演奏を続け、首席フルート奏者として活躍した。ミラノスカラ座日本公演にも同行した。リカルド・ムーティはじめ多くの著名な指揮者と共に世界を舞台に演奏活動(コンサート、オペラ、パレエなど)も行っており、マスタークラスの演奏家であることはイタリア国内外で認められている。また、アンサンブル・クラシカ・トリオを結成し、イタリア国内外で活動している。現在ではスカラ座管弦楽団を定年退職し、スカラ座アカデミー音楽院にて後任の指導にあたっている。

ファビオ・スブルツォラ / ギター
Fabio Spruzzola / Guitar

マエストロ/ジョルジョ・オートウレマーリに師事。国立ミラノヴェルディ音楽院卒業。1980年代、数多くの音楽コンクールに入賞する。ミラノのピッコロ劇場、ジュネーヴのオペラ劇場、ミラノのスカラ座に出演し、ヴェルディ、ロッシニ、ドニゼッティなどの作曲家のオペラ公演などを行った。また、近年ではスカラ座室内楽団、スカラ座六重奏団、ベルガモ管弦楽団などの室内楽アンサンブルのソリストとして世界中を周り、活動している。イタリア、レジオカラブリアのヒッポニア・アカデミー音楽院にて教鞭をとっている。

イヴァーノ・ブランビッラ / クラリネット・マンドリン
Ivano Brambilla / Clarinet & Mandolin

国立ミラノヴェルディ音楽院室内楽団のソリスト、及びボメリッジムジカリー管弦楽団の一員として活動中であり、高い評価を得ている。クラリネット教育に携わることはもちろん、シュトラスブルク宮殿、テキサス工科大学、コロンバス大学、北京クラリネットフェスティバル、オステンドクラリネットフェスティバルなど多くのオーケストラや室内楽団にて演奏を行っている。また、マンドリンの名手としても有名で、作曲、編曲活動も行っている。

PROGRAM

スカルラッティ Scarlatti, A.

すでに太陽はガンジス川から *Già il sole dal Gange*

マルティーニ Martini, J.P.

愛の喜びは *Piacere d'amor*

ベッリーニ Bellini, V.

激しい希求 *Il fervido desiderio*

フィッリデの悲しげな姿よ *Dolente immagine di Fille mia*

優雅な月よ *Vaga luna che inargenti*

ドニゼッティ Donizetti, G.

私は家を造りたい *Me voglio fà 'na casa*

ヴェルディ Verdi, G.

寂しい部屋で *In solitaria stanza*

乾杯 *Brindisi (2a vers.)*

プッチ Pucci, R.

地中海のアヴェマリア *Ave maria mediterranea*

トスティ Tosti, F.P.

最後の歌 *L'ultima canzone*

理想の人 *Ideale*

君なんてもう *Non l'amo più*

デンツァ Denza, L.

妖精の瞳 *Occhi di fata*

マッティ Matti, T.

いつわり *Non è ver*

レオンカヴァッロ Leoncavallo, R.

朝 *Mattinata*

武満 徹 Takemitsu, T.

小さな空 *Piccolo cielo*



JR 有楽町駅下車……………銀座口から徒歩7分
地下鉄 銀座駅下車……………A12出口から徒歩1分
地下鉄 銀座一丁目駅下車……9出口より徒歩5分
地下鉄 東銀座駅下車……………A2出口から徒歩2分